

(テーマ)

空き家対策、田舎ぐらし体験事業

- (1) 人口増をターゲットに、民営市が協力し、空き家をリフォームし、都会の方が田舎の空気に住んで頂くよう広報を活用する。
- (2) 温泉の町始良手形(温泉券)を発行して。観光スポットに空き家をリフォームして憩いの場に、茶いっぺハウスを活用。
- (3) いなかぐらしの体験より、空き地も活用し、結いの町の地域の方々より支援を頂き、ゴーヤ饅頭かるかん(企業も民とのコディネイトとか)みやげ物を、茶いっぺの茶うけにとかが全体的提案理由と思い。

私は 22 歳まで、川内-空港をつなぐ幹線県道沿いの、始良市寺師という山里で、今も田園風景そのままのところ、竹の子・つわぶきがとれ、私も自然育ちで子供時代は山・畑・川遊んだり、山の実をとって食べたりでしたが、今まさに高齢化の波の中 空き家、空き地が急激に増えており、対策を考慮せざるを得ない状況ではないでしょうか。

- (4) リフォーム取り組みのアイデア

母屋と馬小屋をリフォームして五右門風呂を生かし、レトロなタイル張りの風呂 2カ所あります、また、桜島や錦江湾一望の 2階もあり。民泊・3ヶ月6ヶ月一年の長期滞在などなど。

まとめ

- ① 市あげて、都会から田舎の暮らしを楽しみに 健康の為にも PR し住の町として取り組んでいけたらう!!
- ② 交流の拠点づくりに空き家活用(リフォームして)顔の見えない人達との結いを通じて、出会、仲間になっていく、そして我がふるさとを愛する心づくりを提案します。